

東京国際映画祭 TOKYO INTERNATIONAL FILM FESTIVAL 2019

◆第 32 回東京国際映画祭：コンペティション部門 審査委員長チャン・ツイイーに決定！！

10月28日(月)～11月5日(火)開催の第32回東京国際映画祭では、映画祭の顔となるコンペティション部門の審査委員長が、世界的に活躍する中国の女優、チャン・ツイイーが務めることが決定した！

チャン・ツイイーコメント

初めて東京に来たのは、長編映画のデビュー作とともに、中国から旅に出た若い俳優の時でした。『初恋のきた道』への歓迎の温かさにとっても感動し、日本が映画制作に込める愛情と情熱を直に目の当たりにしたことを覚えています。私の長編映画デビュー作が、日本、そして世界中の映画ファンに好評を得たという経験は、この(映画という)視覚的な方法が物語を語る力、普遍的に感じられる悲しみと喜びを表現する力というものを教えてくれました。若い俳優にとって、これは素晴らしい体験でした。今回東京国際映画祭にご招待いただき、日本の映画ファンと一緒に過ごすことができることは大きな喜びであり、また審査委員長として、名だたる映画人とともに素晴らしい作品を見つけ、称えることができるという格別な経験ができることを光栄に思います。

久松猛朗フェスティバル・ディレクターコメント

この度、第32回東京国際映画祭の審査委員長に女優のチャン・ツイイーさんをお迎え出来ることを心より嬉しく思います。彼女は、言うまでもなく、中国のみならず世界で活躍する女優の一人ですが、長編映画デビュー作『初恋のきた道』で彼女を見た時の衝撃は未だに忘れられません。また彼女は鈴木清順監督の『オペレッタ狸御殿』にも主演され、日本人が非常に親しみを感じる女優でもあります。今回、東京国際映画祭で彼女と一緒にお仕事出来ることは本当に楽しみです、それが双方にとって実りあるものになることを心より願っています。

チャン・ツイイー プロフィール

多様な役柄で多くの受賞歴を誇り、世界的に評価を受けるチャン・ツイイー氏は、2000年にチャン・イーモウ監督作品『初恋のきた道』で映画デビューを果たし、この作品が第50回ベルリン国際映画祭で銀熊賞を受賞したことから脚光を浴びるようになる。世界的に好評を博したアン・リー監督の映画『グリーン・デスティニー』(2000)での演技により、国際的な知名度を得るようになった。スティーブン・スピルバーグの指名で主演したハリウッド作品『SAYURI』(2005、監督：ロブ・マーシャル)で俳優としての地位を確立させ、その年の英国アカデミー賞や米国ゴールデングローブ賞の最優秀女優賞候補に



(c) 2019 TIFF

もノミネートされた。ウォン・カーウアイ監督の『グランド・マスター』(2013)では、前代未聞の12もの最優秀女優賞を受賞している。

俳優生活20年の間に、中国、そして海外の作品で幅広い役を演じており、チャン・イーモウ監督の『HERO』(2002)や『LOVERS』(2004)、また日本の巨匠、鈴木清順監督の映画『オペレッタ狸御殿』(2005)にも出演している。2019年には、5月31日公開の『ゴジラ キング・オブ・モンスターズ』(監督：マイケル・ドハティ)、そして9月30日公開の『Climbers (原題)』(監督：ダニエル・リー)にも登場する。

過去には、カンヌ映画祭で2006年にメインのコンペティション部門、2009年にシネ・フォンドーション、2013年にある視点部門の審査員を、また2016年にはトロント国際映画祭のプラットフォーム部門の審査員を務めている。さらに、フランス文化省より、芸術・文学の分野で功績がある人に贈られる名誉勲章、芸術文化勲章シュヴリエールが授与されている。デビュー前には中国の最高学府・北京舞蹈学院に通い、6年間伝統的な民族舞踊を学んだ後、卒業後、期せずして中国で最も権威のある演劇学校・中央戯劇学院に入り、俳優としてのキャリアをスタートさせた。

<第 32 回東京国際映画祭 開催概要>

■開催期間：2019年10月28日(月)～11月5日(火)

■会場：六本木ヒルズ(港区)、EXシアター他

■公式サイト：<https://2019.tiff-jp.net>